

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18カ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。



季節限定の大人気

フェアトレードチョコ販売中

1つ380円。9種の味があります。ご希望の商品番号、個数をお知らせください。

- ①ラズベリー ②オレンジ ③キャラメル
- ④ヘーゼルナッツ ⑤ミルク
- ⑥ザクロ ⑦レモンピール ⑧ビター
- ⑨カカオニブ

送料：4個まで180円。5個以上は代金に別途送料加算致します。(レターパック370円又は宅配便料金700円〜)でお届けします。なお、年末につきお届け日の指定はできません。販売期間限定の季節商品ですので品切れの際はご容赦ください。

残り僅かとなりました

「地球家族2022年版」

A4サイズ(使用時はA3サイズ 高420mm×巾297mm)。1冊1,100円(税、送料込)国内へのお届けに限りです。4冊まではレターパック等、5冊以上は宅急便でお届け。(北海道・沖縄は1荷物あたり800円加算)なお、お届け日はご指定できません。

【クリスマスカードとカレンダー共通】

【お支払い】

後払い

お申し込み:

(株)キングダムビジネス

スマートフォンは上記QRコードから

電話注文: 06-6755-4877

FAX注文: 06-6755-4888



須磨ノ浦高等学校 机と椅子をザンビアに寄贈

兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校(神戸市須磨区)が机と椅子300セットと教卓をアフリカ・ザンビアに寄贈して下さいました。10月30日(土)に部活動の高校生と先生方も加わり、コンテナトラックへの積み込みを行いました。加えて子ども用Tシャツ3,712枚と食器類、パン・アキモトの救急箱6,558缶も一緒に送られました。

事務所からのお知らせ

各事務所でのテレワークは一部を除いて終了、通常体制になりました。支援者様には各種手続きでご不便をおかけいたしました。なお感染が再拡大した場合は勤務体制を変更することもあります。年末年始は、12月31日～1月3日までお休みとなります。

子どもたちにクリスマスカードを

送付ご希望の方は、大阪事務所へお送りください。プレゼントの同封はご遠慮いただいております。ご理解ご協力をお願いします。

音が鳴るなどの機能がある電池入りのカードは、**国際郵便で禁止**されているためお控ください。12月以降に到着したカードは2022年に入ってからのお届けになります。新年のご挨拶も歓迎します。

【送付先】

〒581-0032 大阪府八尾市弓削町3-74-1

チャイルドサポーター事務局



サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

フリガナ	氏名	
(TEL)		
住所	〒	
申込日	年 月 日	NL 377号
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください	
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円 □(1,000円) ②一時募金として 円協力します。	
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月()円 □(500円)	
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。	
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送ってください。	
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送ってください。	

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **5134**口

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2021.12 No.377
ハンガーゼロ・ニュース



Contents

- 世界食料デー沖縄大会レポート P.2
- クリスマスに愛の贈りものを
学校農園プロジェクト in Kenya
~募金のご案内~ P.4-5
- チャイルドサポーター
バングラデシュ/新支援地で活動開始 P.6-7

12月17日に「クリスマス特別配信」

今回はプレミア公開で事前収録の楽しい企画や映像をお届けいたします! 20時公開。ハンガーゼロ YouTube チャンネルに登録してお待ち下さい!

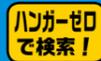


ケニア・学校農園プロジェクト(クリスマス募金 P.4-5)

1分間に17人(内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>

eメールアドレス general@jifh.org

フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



「つながる募金」(旧がざして募金)に変わりました。ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,246,737ポイント(円)のご協力(12,700件)がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター



世界食料デー沖繩大会開催、再び愛の輪広がる

大会ソング「平和が生まれる」を披露する出演者（南部大会）

2年ぶりの大会と関連イベントで盛り上がる

昨年の食料デー沖繩大会は、コロナ禍のために6大会が開催を断念しましたが、今年は感染対策をしたで、4か所（南部・北部・中部・宮古）で対面とYouTube配信で大会を開催することができました。一部をご紹介しますと、南部では金城暁子師（沖繩ゴスペルファミリーチャーチ）が沖繩大会のために「平和が生まれる」という曲を作ってくださいました。宮古では大会の前日にレオクラブ（ライオンズクラブのキッズクラブ）によるライブと、子どもたちの司会による、まるちくタクシー・宮古ライオンズクラブ・子ども親善大使からの募金贈呈式も行われました。

久米島では、FMくめじまの番組の中で、スタジオと田村の携帯電話を繋いでのチャレンジとなりました。



①中部大会でガッツトレジャー（ゴスペル）②宮古大会で演奏するレオクラブバンド
③ティダっ子学園での募金贈呈式④挨拶をする江間隆北部推進委員（北部大会）

動画や講演等を通して、私たち一人一人に何ができるか考える時となり、コロナを通して普段あたりまえに思っていたことがあたりまえでないこと。しかしコロナ禍でもさまざまな可能性があることも学びました。感染対策をしながらの開催でしたが、みんなのいきいきとした姿に集える喜びを実感しました。（報告：沖繩事務所 太田）



YouTube 生配信で大会運営をお手伝い

オンライン活用の可能性に期待

私は沖繩南部、北部、中部大会の生配信を担当させて頂きました。沖繩では10月1日に緊急事態宣言が解除されて、多くの方が会場に来てくださいました。YouTubeでの生配信の方は、事前に配信QRコード付きの食料デー大会チラシが配布されたことで、初めての試みにもかかわらずの大会も約10名弱の方々が視聴してくださいました。

当日の配信は、各大会の音響や普段配信をして下さっている方々のご協力のもと行いました。裏方の役割ですが、お越しになれない方に映像や音声で大会をお届けすることができます。

共に飢餓貧困問題

についての情報を共有し、自分に出来ることは何だろうか考える機会にもなりました。今回はどの大会でもハンガーゼロ沖繩アンバサダーのシンガーソングライター・Sakiさんが、歌で大会を盛り上げてくださいました。音楽を生で聴く感動や、その場にいられた方と感想を語り合う楽しみもありますが、どこにいても参加できる生配信にも多くの方々に参加していただきたいと思います。

（報告：東京事務所・WEB チーム 鶴若）



Okuda DESIGN PROJECT

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—
インターネットでお部屋探し。
www.okuda-re.co.jp

代表取締役社長 奥田 英男
〒197-0003 東京都福生市熊川 447-9

総合不動産 有限会社オクダ商事
総合建設 オクダ建設株式会社

042(552)0102(代)

Hunger Zero 活動報告 2020-2021年度物資支援

FH= 国際飢餓対策機構

コロナの影響下でも無事届けられました

今年は新型コロナの影響を受けて、例年以上に物資支援の要請が多かったのですが、港の閉鎖などもあり輸送手段の確保がたいへん難しく、必要な物資を届けるのに非常に困難を伴いました。

各国からの報告は以下の通りです。



グアテマラ共和国

【支援物資】 野菜スープミックス 115万2,000食

FHカナダ、FHグアテマラと協力し、野菜スープミックス115万2,000食分を飢餓に苦しむ人々に届けました。物資は2021年5月に到着し、FHグアテマラはそれまでの支援地であるキチェ集落の3つの村の学校給食に用いられる予定でした。

FHグアテマラは、教育省ならびに保健省の方針に協力して学校給食のために野菜スープを提供し、危機的状況にある家庭の栄養状況の改善に寄与する働きをしていました。しかし新型コロナの影響による休校で、学校で出される軽食が唯一のまともな食事だった子どもたちは深刻な状



スープミックス配給の日/生徒や母親たちが教師とともに



スープミックスで作ったタコス（学校給食）と調理する学生⑥

況に立たされていました。そのため、学校で提供する予定だった家庭に配給することとし、2021年10月から各生徒の家庭に約2週間分が配られています。



ブルンジ共和国

【支援物資】 野菜スープミックス 115万2,000食

FHカナダ、FHブルンジと協力し、野菜スープミックス115万2,000食分を飢餓に苦しむ人々に届けました。物資は2021年5月17日に到着し、6月25日に通関手続きが完了しました。送られた物資はすべて、カヨンザ州カバロレ郡、ンゴジ州ムウォンバ郡、ルイギ州ギスル郡にあるFHブルンジの支援地で通関完了後5日以内に配給されました。それぞれの支援地内で最も必要のある家庭が野菜スープミックスを受け取りましたが、他の食物と一緒に食されるため、1ヵ月以上は食べ続けることができます。

受益者の1人であるThomas Bagabo氏は、「この野菜スープは、子どもたちが必要な栄養を摂るのにとっても重要です。キャッサバ、じゃがいも、さつまいも、バナナなどどんな食べ物にも合いますから、私たち大人もとてもおいしく頂いています。私たちは土地を持っていないので、必要な作物を自力で栽培することができずにいます。野菜スープミックスのご支援はとてありがたいです」と語っていました。



シエラレオネ共和国

【支援物資】 医薬品

新型コロナの影響による輸送困難が続く中、FHカナダならびに現地パートナーであるマーシー&ホープ・インターナショナルと協力して、2021年もシエラレオネに医薬品を届けることができました。物資は予定通りに到着しましたが、通関には通常よりも時間がかかりました。主要支援先であるユナイテッド・メソジスト・チャーチ病院は、フリータウン市の北部に住む極貧状態にある人々に無償で医療サービスを提供しています。マーシー&ホープ・インターナショナルの代表が支援物資を渡しに行ったその日にも、治療費はないものの何とか助けを求めて病院に来ていた人たちが大勢待ちっており、病院スタッフは受け取った医薬品をその場で開けて治療に用いていました。

※支援金額は、前月のハンガーゼロニュース 11月号（年次報告）をご覧ください。11月号はホームページでも掲載されています。

クリスマスに愛の贈りものを

学校農園プロジェクト in Kenya



ケニア



家庭の食事と学校給食…

2つの食料不足の解決を目指す学校農園

子どもたちが健やかに育つためには、体をつくるのに欠かせない栄養のある食事を十分に取れることが重要です。そのためには学校給食だけでなく、家できちんとご飯が食べられることもとても大切です。

ハンガーゼロのパートナー団体であるFHケニアが活動しているメルー州ブウリ地区では、気候変動の影響で農業用水の確保が難しく、十分な収穫量が確保できないため、地区内の平均的な家庭の収入は月10ドルと非常に低く、食料の確保と生計に深刻な影響を与えています。

またケニアでは学校給食の食材を提供するのは保護者の責任ですが、食材を提供する余裕がない家庭の子どもは学校を休みがちです。そんな状態が長く続けば勉強についていけなくなり、やがて中途退学してしまって貧困が連鎖する恐れがあります。

学校農園プロジェクトとは

これらの課題解決のためにFHケニアは、地域のリーダーや行政と協力して学校農園プロジェクトに取り組んでいます。学校農園プロジェクトとは、給食の持続可能な運営に悩んでいる学校が敷地内の土地を提供し、そこに保護者等のためのモデル農園を作る取り組みです。モデル農園では環境に配慮した保全農業を実際に行い、その方法と成果を目に見えるものとします。そして最小限の水で十分な収穫量を実現することができる、気候変動対応農法を学ぶ機会

を保護者等に提供します。保護者等が研修や実地訓練で学んだことをそれぞれの畑で実践することで作物の収穫量が上がり、保全農業が普及することによって、住民が年間を通して食料を手に入れることができるようになることを期待しています。最終的にはブウリ地区全体の農業生産性が向上し、現在は危機的状況にある家庭も収入が安定することを目指しています。

また同時に、すべての家庭が給食の食材を提供できるようになり、子どもたちが継続的に学校に通えるようになることを目標としています。

地域住民に農法を伝授

ハンガーゼロはFHケニアと共に昨年度、最初の取り組みとしてカイルニ小学校の学校農園の設立を支援してきました。今年度は、そこから得たノウハウと反省を活かして同じブウリ地区のマールイ小学校とンチョロイボロ小学校に学校農園の取り組みを拡大します。

マールイ小学校はケニア山の森林に近く、近隣の農地に水を供給するための水源が利用できる立地で、モデル農園の設立に適しています。カイルニ小学校同様地域住民のほとんどがその日暮らしの農民で、気候変動の影響に対応していない従来型の農法を続けているので生産性は落ちるばかりです。学校にモデル農園ができれば、生徒の保護者をはじめとする地域住民は、気候変動に対応し生産性を上げられる農法を学ぶことができます。マールイ小学校がある



ンチョロイボロ小学校の児童たち



ンツギ集落には、郡政府が公費でジャガイモの保存施設を建設していますので、質の良いジャガイモを生産すれば、その保存施設を利用することができ、収入安定へとつながられる可能性があります。

一方ンチョロイボロ小学校には、郡政府が整備してくれた太陽光発電を用いた汲み上げ井戸があり、こちらもモデル農園の設立に適しています。地域住民は農業で生計を立てており、学校の敷地内にモデル農園ができて気候変動に対応できる農法を学ぶことができるようになれば、生計の安定に大きな助けとなります。学校の近くには卸売業者も買いに来るような大きな市場があるため、学校農園の事業が軌道に乗ってくれば、農園で収穫した農産物をある程度の規模で販売することも可能です。

学校給食プログラムの充実にも

学校農園プロジェクトは、モデル農園で収穫される農作物を用いて両校の学校給食プログラムの充実を図ると共に、保護者等が環境に配慮した保全農業を学ぶ場としてモデル農園を活用することを目指しています。プロジェクトの受益者は、マールイ小学校(写真⑥)とンチョロイボロ小学校の生徒と保護者約1,200人、ひいては両校があるンツギとンチョロイボロ両集落の住民約7,500人です。

今年度は、まだ初期段階にあるカイルニ小学校のモデル農園と並行しながら、マールイ小学校とンチョロイボロ小学校のモデル農園プロジェクトを実施していきます。カイルニ小学校の時と同様、学校農園プロジェクトが自主的に持続可能な取り組みとなり、農園設立後もしっかりと維持管理していけるように、責任者となるリーダーたちの意識改革と組織形成を丁寧に行います。その後実際の農園

作りに着手し、囲いの設置、水源から農園全体に水を引くためのパイプの設置、魚の養殖池の造成、苗床作り、果樹や樹木の植樹などの活動を行う予定です。また、気候変動対応保全農業を学ぶための研修や先行事例から学ぶための視察なども行われます。



●ケニアの学校農園プロジェクトへのご支援の例

1,000円で… 1回、保護者1人が気候変動に対応できる農法を学ぶための研修に参加できます。

3,000円で… 1回、農業の専門家に来てもらい現場で指導を受けることができます。

10,000円で… 1ヵ月間、農園労働者を1人雇うことができます。農園労働者は、モデル農園で実際に気候変動対応保全農法を用いて農作物を作り、保護者等に見本を示すと共に農園を維持し、学校給食にも食材を提供するなど重要な役割を担います。学校農園プロジェクトが軌道に乗れば、そこでできた農作物を販売しその収益で農園労働者の雇用を維持する計画を立てています。

今年度のクリスマスキャンペーンでは、ケニアの学校農園の取り組みと共に、西アフリカのシエラレオネとガンビアの若者たちの農業の取り組みを支援する予定で、目標募金額は800万円です。皆さんの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



募金目標
800万円

①郵便振替 00170-9-68590
一般財団法人日本国際飢餓対策機構「クリスマス募金」と明記
②WEBサイト「ハンガーゼロ」
で検索又はスマホでQRコード
入り、クレジットカードを利用

※WEBサイトからの募金受付は
12月からとなります



Child Supporter チャイルドサポーター **バングラデシュ／新支援地ジリム集落で活動を始めました**

FH (国際飢餓対策機構) が10年にわたって支援を続け、ハンガーゼロが2014年から支援に加わってきたマチュパラ地区での活動は、2021年12月で卒業を迎えることになりました。子どもや家族、地域に多くの問題を抱えていたマチュパラ地区では、人々が現地スタッフを通して問題解決の方法を学びながらさまざまな活動に取り組んできました。その結果、人々の意識が変えられ地域に変革をもたらしています。今後は人々が培ってきた知識と経験を活かしながら、地域が成長し続けることを私たちは願っています。皆様のご支援によってこの活動を続けていくことができたことを感謝申し上げます。



子どもたちを取り巻く環境の改善から着手

ハンガーゼロは2022年1月からバングラデシュのジリム集落で新たにチャイルドサポーター活動を開始致します。バングラデシュ北西部ラジシャヒ管区チャパイナワブガンジ県内にあるジリム集落の人口は26,194人。5,871世帯が暮らしていて、先住民族のサンタル族が多い所です。主要言語はベンガル語ですが貧困家庭では学校中退率が高く、多くの方はベンガル語の読み書きができません。人々は自分の土地を持たない小作農民のため、地主農場で安い賃金で働かされ、1人当たりの1日の収入が貧困線の1.2ドル以下で生活しています。親たちは生活に余裕がないため子どもたちの健康や心のケアまでなかなか届かず、教育よりも労働力を優先してしまいます。また子どもたちは非衛生的な環境から病気にかかりやすく課題は山積みです。チャイルドサポーター活動は今後、ジリムの子どもたちに焦点を充てながら、子どもたちを取り巻く環境を改善していくために活動を開始します。

【これからの活動】

現地パートナーのFHバングラデシュのスタッフはまずFHの活動理念を伝え、地域との信頼関係を築くために地域リーダーや住民と話し合いを重ねていきます。同時に地域の中でも最も困窮している家庭を見出すための調査と情報収集を続けます。特に未亡人家庭、離婚した家庭、障がいのある子どもを持つ家庭、少数民族の家庭の子どもたちを優先的にサポートチャイルドとして選び、活動に参加してもらいながら支援を始めます。

【はじめに着手すること】

まず教育、保健、生計、防災の4つの分野から活動を始めます。

教育

教育の課題を把握し、学校の中退率を下げるために就学前のプレスクールの設置や教育上のサポートを子どもたちに行っていきます。大人には識字教育を実施します。



保健 健康面の改善に向けて、公衆衛生や栄養に関する知識を伝達させる手段として、母親のボランティアグループを作り、母親のリーダーを選びます。

生計 貯蓄グループを作り、家計の収入向上の取り組みやお金の使い方を伝えると共に女性の収入向上活動も行っています。

防災 地域が干ばつや季節的な嵐などの災害に対処できる力を養っていきけるように、地域の防災計画を立て、定期的にモニターリングを行っています。ジリムの人々のための活動を応援してください。よろしくお願いたします。支援方法は下記の案内をご覧ください。

現地スタッフ・アリの思い

村人との深い絆を築くまで10年

FHバングラデシュのスタッフとして10年にわたってマチュパラでの活動に関わってきたアリ・レザさんに現地で働いてきたご自身の思いを寄せていただきました。

私がこの仕事を選んだ主な理由は、この活動が取り残された人々に関わり彼らが神様から与えられた可能性を引き出す仕事だからです。マチュパラで働き始めた最初の頃、村の人々にFHの活動理念を理解してもらうのに困難を感じていました。人々がNGOに対してよくないイメージを持っていたからです。私たちは彼らの希望を共有し過去の不満に耳を傾けました。私たちのそうした態度は、後に人々と強い絆を築くことになりました。この関係作りによって、今人々はFHスタッフ全員に愛と尊敬と一体感を持って、この活動に協力してくれました。

グループを作って収入向上の機会やそのためのトレーニング、保健や身近な法律についての知識などを人々に伝えました。これらの活動によって地域は変わりました。人々は必要な時に助け合い祈ることや、互いを尊敬することを学び女性たちは力を与えられています。また人々はトイレを利用し石鹸で手を洗い清潔な水を飲むようになりました。

私はこの変化の一端を担うことができたことをとても誇りに思っています。地域変革の機会に関われたことは幸せで、私とこの地域をあらゆる意味で成長させてくださいました。



女性ボランティアグループの活動が浸透

私自身FHのスタッフたちと働くことによって、どのようにして誠実に歩むか、忍耐を持ってすべての人を平等に尊重するのかを学びました。

最初は迷信を信じる人が多く、人々同士のつながりもなく子どもたちに教育を受けさせることを人々は望んでいませんでした。そこでFHは女性によるボランティア

子どもを支援する

ジリムの子ども1人とその家族、そして地域の支援につながることができます。サポートしている子どもの成長記録、クリスマスカード、現地の活動報告が届くほか、子どもと自由に手紙のやり取りを交わして交流することができます。

月々4,000円
子ども1人を支援することができます。

2つの支援方法

活動を支援する

活動全体をサポートしながら地域の支援につながることができます。月1口1,000円から支援が可能です。なお毎月でなくても一時的な募金も可能です。

1,000円～
月々または自由なタイミングで支援できます。

スマートフォンをカメラで読み取り、申し込みページに入ります

備蓄をしながら社会貢献

世界にパンを届けよう

救缶鳥

Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました!

食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。

〒329-3147 栃木県那須塩原市東小屋295-4

TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索

おいしいさと夢をお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰 since 1995

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

Health & Natural Beauty

ロングライフグループ

0120-550-294

受付時間 9:00~18:00 年中無休

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

大阪本社 / 〒530-0015 大阪府北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

ロングライフグループ拠点: 北海道 / 埼玉 / 東京 / 神奈川 / 千葉 / 静岡 / 愛知 / 大阪 / 兵庫 / 京都 / 大分 / 沖縄 / 中国 (青島) / 韓国 / インドネシア (ジャカルタ)

※「協賛広告」を募集しています。ウェブにも掲載。詳しくは大阪事務所まで